

# 季節労働者就労等実態調査

平成 22 年 2 月 15 日

函館季節労働者通年雇用促進支援協議会

# 季節労働者就労等実態調査の集計結果について

平成 22 年 2 月 15 日

函館季節労働者通年雇用促進支援協議会

季節労働者の就労状況等の実態（職種、年齢構成、生活実態、通年雇用に関しての課題等）と季節労働者を雇用する事業所の雇用の実態（企業動向、雇用する職種、通年雇用化に対する考え方等）についてアンケート調査を実施した。

## 調査結果

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1 季節労働者を雇用する事業所向け実態調査 | 1 ページ |
| 2 季節労働者向け実態調査         | 9 ページ |

## 調査票

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 1 季節労働者を雇用する事業所向け実態調査票 | 25 ページ |
| 2 季節労働者向け実態調査票         | 29 ページ |

### 【調査方法等】

- ・ 調査対象 事業所 : 500社  
季節労働者 : 2,700名
- ・ 調査期間 平成 21年 10月1日～10月30日
- ・ 調査方法 事業所 : アンケート調査票を500の事業所に送付、郵送回収  
季節労働者 : アンケート調査票を500の事業所に送付、郵送回収(2,200名)  
アンケート調査票にもとづく電話聞き取り調査(500名)
- ・ 回収率 事業所 : 回収実数 62社(回収率 12.4%)  
季節労働者 : 回収実数 405名(回収率 15.0%)  
内訳 事業所送付  
郵送による回答 120名  
聞き取り調査  
函館勤労者企業組合 160名  
函館建設厚生企業組合 125名

# 季節労働者を雇用する事業所向け実態調査

この実態調査は、ハローワーク函館から入手した、過去に季節労働者を雇用したことのあ  
る事業所一覧から無作為に抽出した500社を母集団とするクロズドアンケートとした。

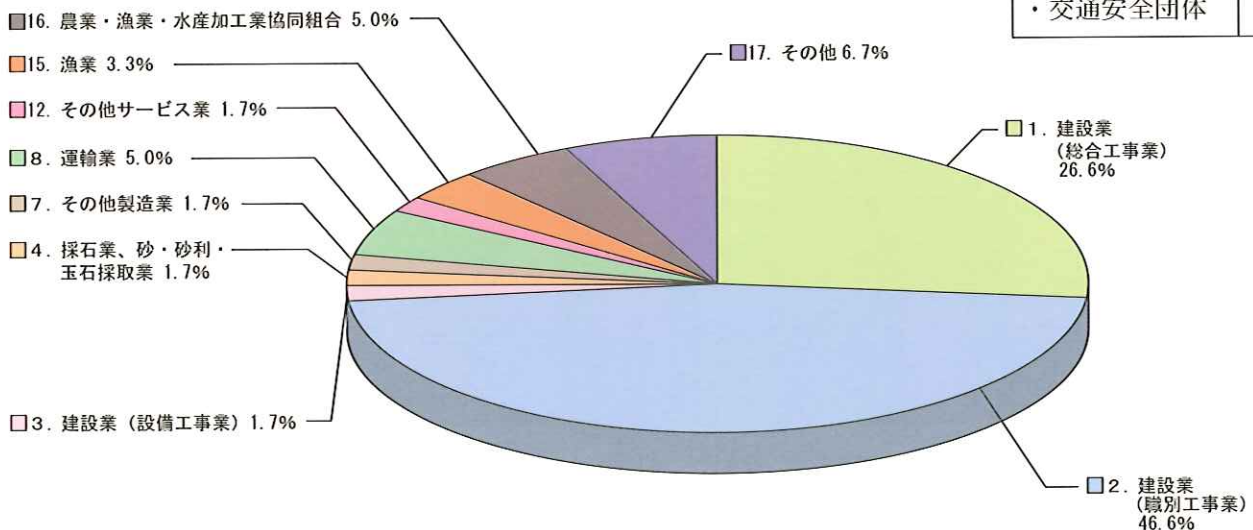
調査方法は、調査票の郵送により実施し、回答があった62社をサンプルとして集計した。  
回収率12.4%。

## I 会社の概要について

問1 貴社（事業所）の状況について記入願います。（該当欄に記入または○をつけてください）

業 種	回答企業数	構成比率	従業員構成	集 計	季節労働者の割合
1. 建設業（総合工事業）	16	26.6%	従業員数 うち季節労働者数	140 87	62.1%
2. 建設業（職別工事業）	28	46.6%	従業員数 うち季節労働者数	188 113	60.1%
3. 建設業（設備工事業）	1	1.7%	従業員数 うち季節労働者数	1 1	100.0%
4. 採石業、砂・砂利・玉石採取業	1	1.7%	従業員数 うち季節労働者数	4 3	75.0%
7. その他製造業	1	1.7%	従業員数 うち季節労働者数	8 5	62.5%
8. 運輸業	3	5.0%	従業員数 うち季節労働者数	345 24	7.0%
12. その他サービス業	1	1.7%	従業員数 うち季節労働者数	96 6	6.3%
15. 漁業	2	3.3%	従業員数 うち季節労働者数	40 40	100.00%
16. 農業・漁業・水産加工業協同組合	3	5.0%	従業員数 うち季節労働者数	175 30	17.1%
17. その他	4	6.7%	従業員数 うち季節労働者数	90 21	23.3%
有効回答企業数	60	100.00%	従業員数総計 季節労働者数総計	1090 331	30.4%
無効回答企業数	2				
回答企業数総計	62				

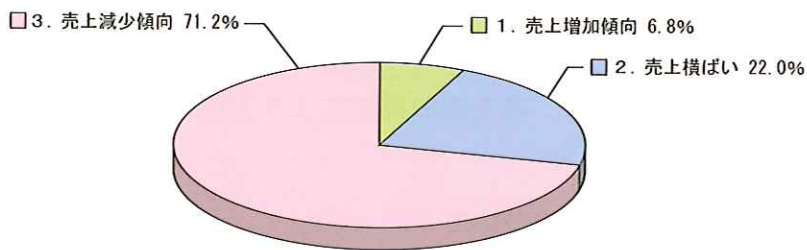
その他（記述）	件数
・警備業	1
・交通安全団体	1



問2 ここ3年間の貴社の動向についてお伺いします。

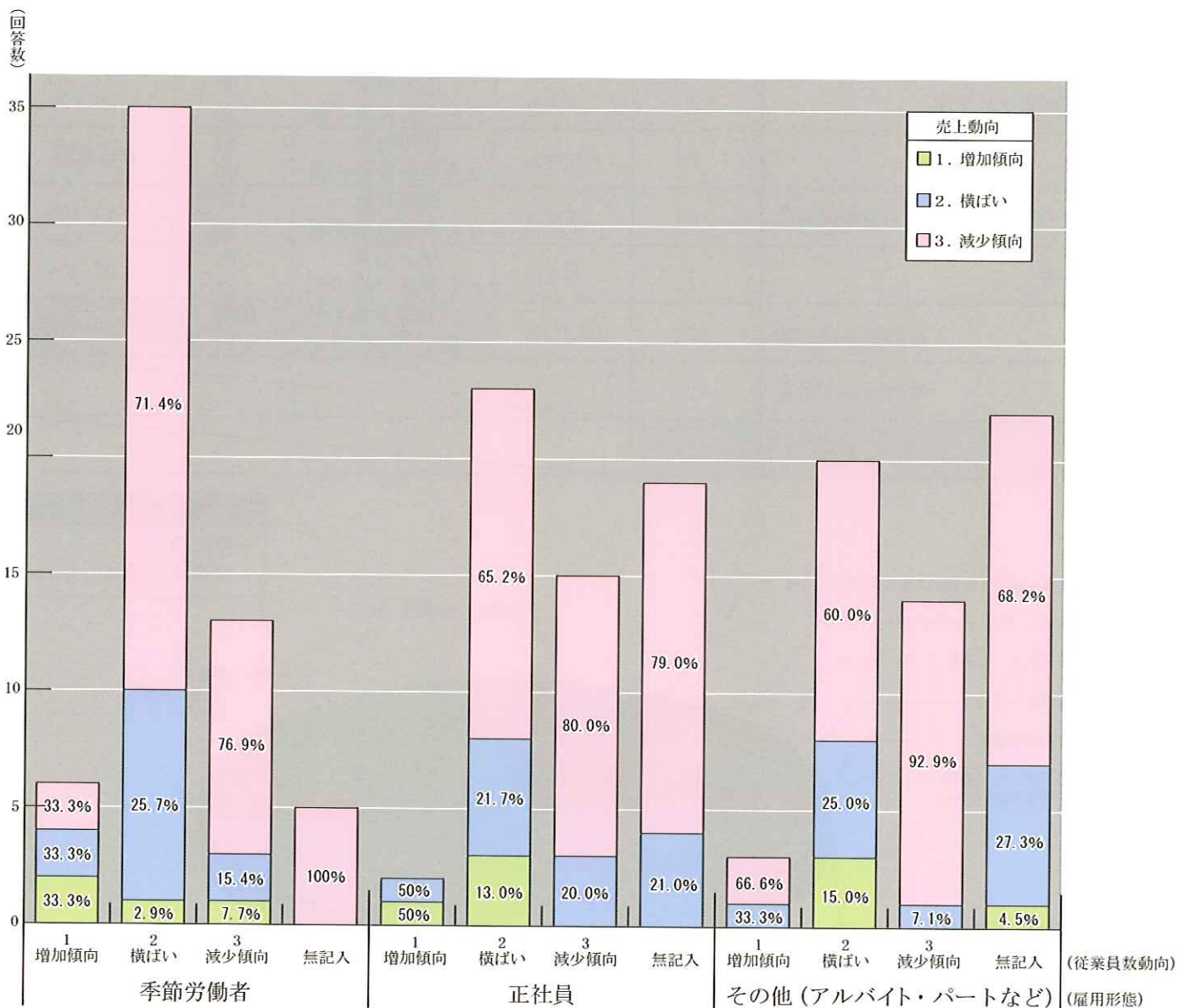
■売上(取扱)高の動向

回答内容	回答数
1. 増加傾向	4
2. 横ばい	13
3. 減少傾向	42
回答企業数	59



■売上動向別の従業員数

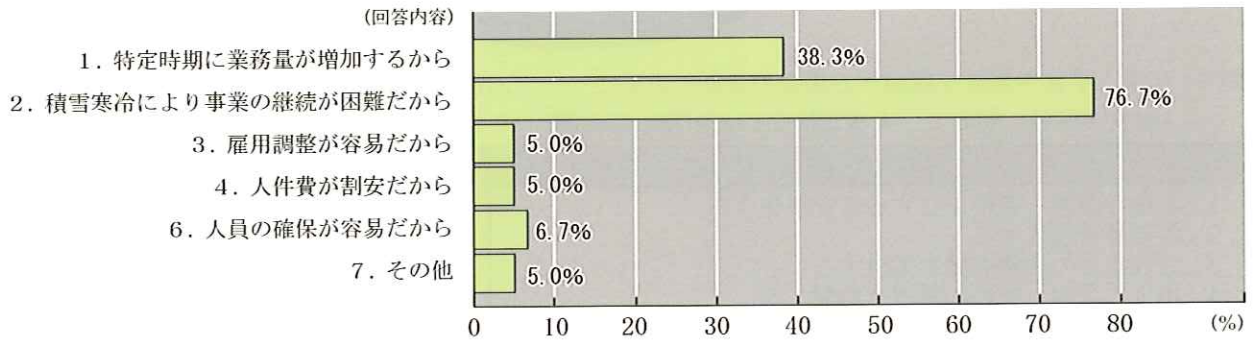
売上動向	従業員数動向				季節労働者				正社員				その他(アルバイト・パートなど)			
	1 増加傾向	2 横ばい	3 減少傾向	無記入	1 増加傾向	2 横ばい	3 減少傾向	無記入	1 増加傾向	2 横ばい	3 減少傾向	無記入	1 増加傾向	2 横ばい	3 減少傾向	無記入
1. 増加傾向	2	1	1		1	3			1	3			1	3		1
2. 横ばい	2	9	2		1	5	3	4	1	5	1	6	1	5	1	6
3. 減少傾向	2	25	10	5		15	12	15	2	12	13	15	2	12	13	15
回答企業数	6	35	13	5	2	23	15	19	3	20	14	22				



## II 季節労働者の雇用の現状について

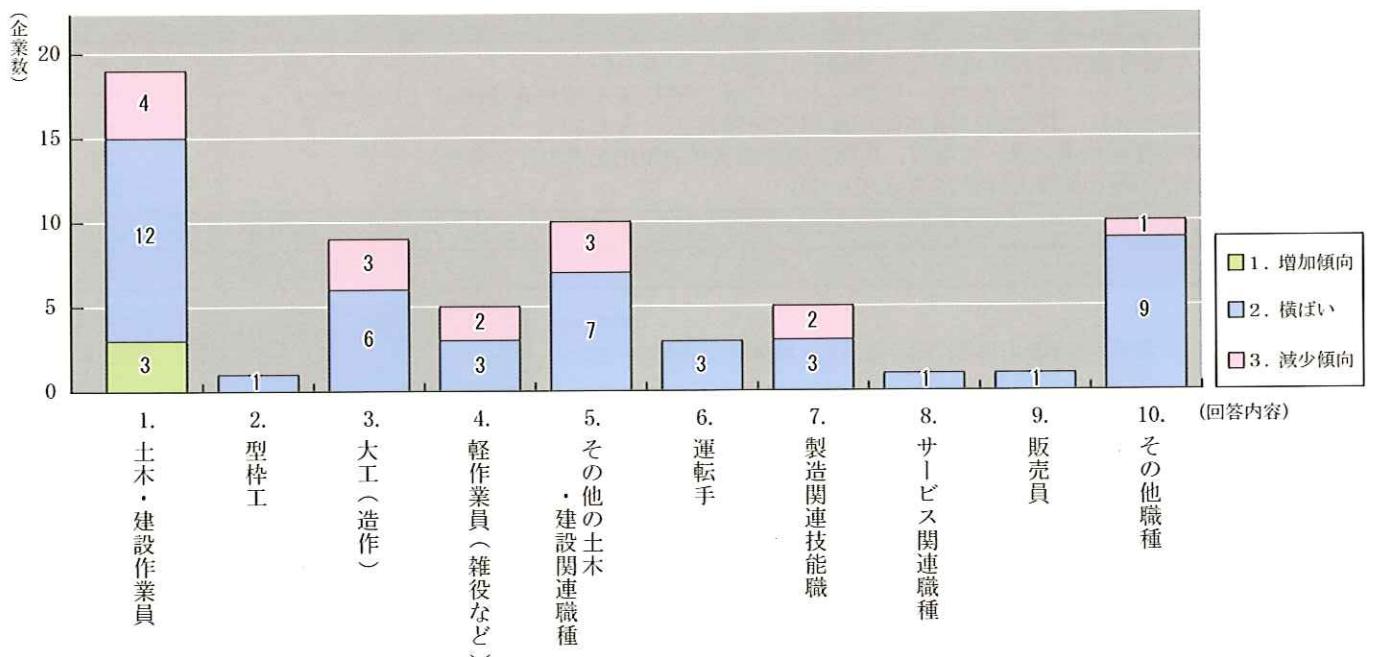
問3 貴社が季節労働者を雇用している理由についてお伺いします。(複数回答可)

回答内容	回答数	その他(記述)	件数
1. 特定時期に業務量が増加するから	23	・仕事ができる時期が決まっている 為、通年雇用が決まっているので 季節労働者を使っている	3
2. 積雪寒冷により事業の継続が困難だから	46		
3. 雇用調整が容易だから	3		
4. 人件費が割安だから	3		
5. 簡単な仕事内容だから			
6. 人員の確保が容易だから	4		
7. その他	3		
回答数	82		
回答企業数	60		



問4 貴社の季節労働者の雇用状況(平成21年9月末時点)についてお伺いします。(複数回答可)

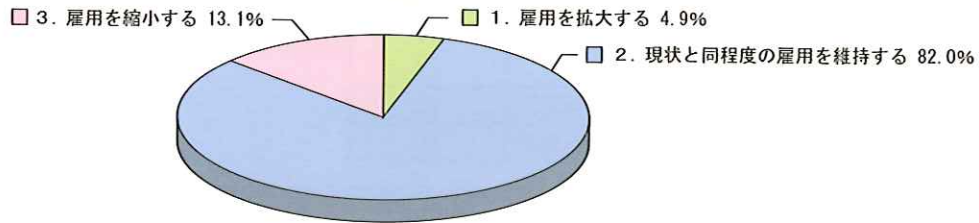
雇用している職種	雇用者数	延べ企業数	1. 増加傾向	2. 横ばい	3. 減少傾向
1. 土木・建設作業員	129	19	3	12	4
2. 型枠工	2	1		1	
3. 大工(造作)	34	9		6	3
4. 軽作業員(雑役など)	12	5		3	2
5. その他の土木・建設関連職種	37	10		7	3
6. 運転手	6	3		3	
7. 製造関連技能職	13	5		3	2
8. サービス関連職種	6	1		1	
9. 販売員	7	1		1	
10. その他職種	51	10		9	1
雇用者数・延べ企業数	297	64	3	46	15
回答企業数		60			



### Ⅲ 季節労働者の雇用動向・通年雇用化について

問5 貴社における今後の季節労働者の雇用についての考え方を伺います。(一つのみ○を記入)

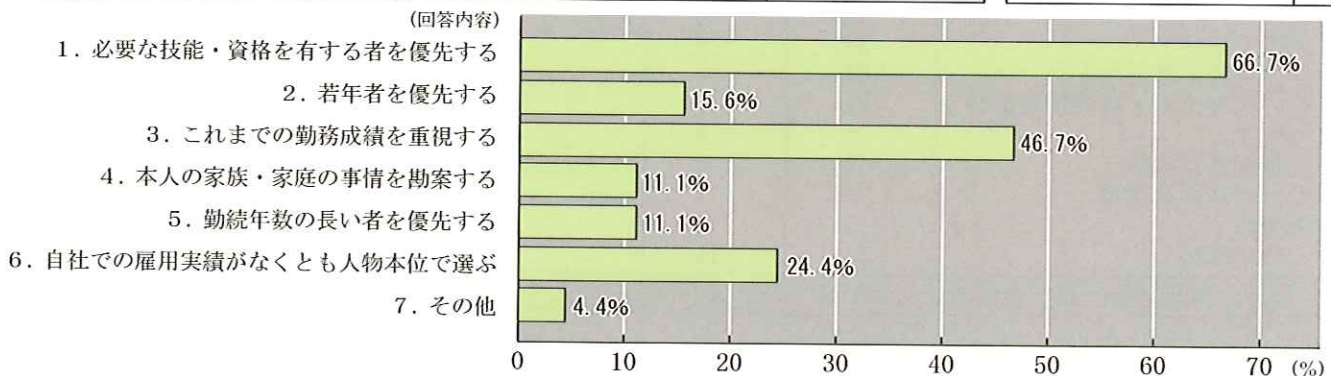
回答内容	回答数
1. 雇用を拡大する	3
2. 現状と同程度の雇用を維持する	50
3. 雇用を縮小する	8
回答企業数	61



問6 今後、季節労働者を雇用する場合の貴社の方針について伺います。  
(複数回答可。問5で「1または2」と回答した企業)

回答内容	回答数
1. 必要な技能・資格を有する者を優先する	30
2. 若年者を優先する	7
3. これまでの勤務成績を重視する	21
4. 本人の家族・家庭の事情を勘案する	5
5. 勤続年数の長い者を優先する	5
6. 自社での雇用実績がなくとも人物本位で選ぶ	11
7. その他	2
回答数	81
回答企業数	45

その他(記述)	件数
・本人の仕事に対する取り組み姿勢により判断	1



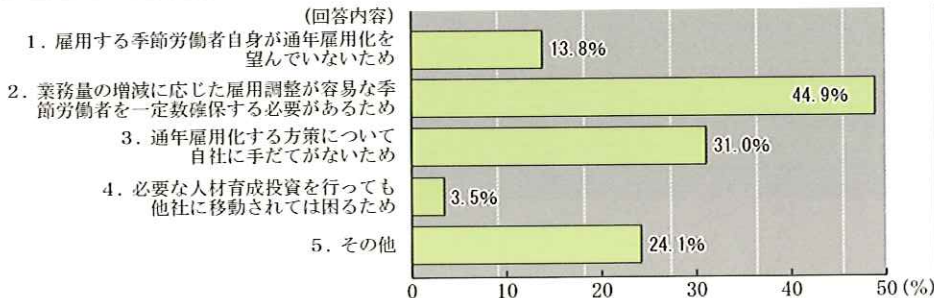
問7 貴社の通年雇用化についての考え方を伺います。(複数回答可)

回答内容	集計
1. 希望する季節労働者の通年雇用化を積極的に進めていきたい	5
2. 季節労働者のうち、必要な技能・資格を有する者に限り通年雇用化を進めていきたい	13
3. 季節労働者のうち、若年層に限り通年雇用化を進めていきたい	6
4. 新規分野の事業が軌道に乗った場合、季節労働者の通年雇用化を進めていきたい	7
5. 季節労働者の通年雇用化は特に考えていない	32
回答数	63
回答企業数	54



問8 問7で5と回答した方にその理由をお伺いします。(複数回答可)

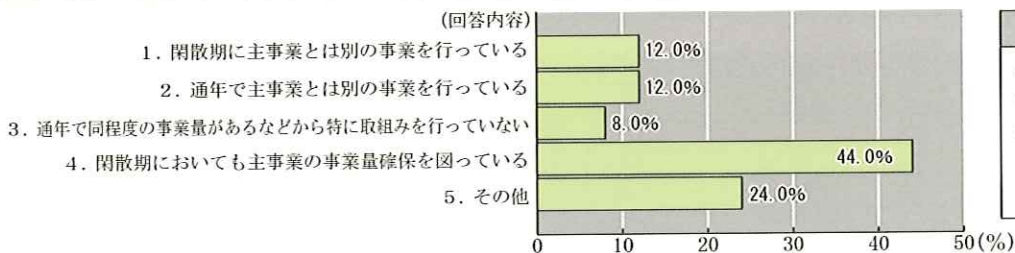
回答内容	回答数
1. 雇用する季節労働者自身が通年雇用化を望んでいないため	4
2. 業務量の増減に応じた雇用調整が容易な季節労働者を、一定数確保する必要があるため	13
3. 通年雇用化する方策について自社に手だてがないため	9
4. 必要な人材育成投資を行っても、他社に移動されては困るため	1
5. その他	7
回答数	34
回答企業数	29



その他 (記述)	件数
・漁獲時期が決まっている	2
・通年雇用をしたいが、積雪寒冷のため事業の継続が困難	1
・業務量の減少に合わせた人員調整が必要な為	1
・冬期間の仕事が無い為	1

問9 貴社の通年雇用化に向けた取組みについてお伺いします。(複数回答可。問7で「1、2、3、4」と回答した方のみ)

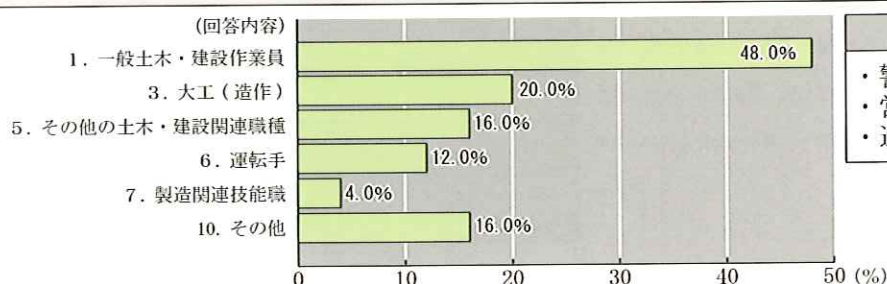
回答内容	回答数
1. 閑散期に主事業とは別の事業を行っている	3
2. 通年で主事業とは別の事業を行っている	3
3. 通年で同程度の事業量があるなどから、特に取組みを行っていない	2
4. 閑散期においても主事業の事業量確保を図っている	11
5. その他	6
回答企業数	25



その他 (記述)	件数
・本州へ出稼ぎ	1
・検討中	1
・事業量を確保できるように営業していきたい	1

問10 通年雇用化した(今後する予定の)季節労働者の職種をお伺いします。(複数回答可。問9に記入した方のみ)

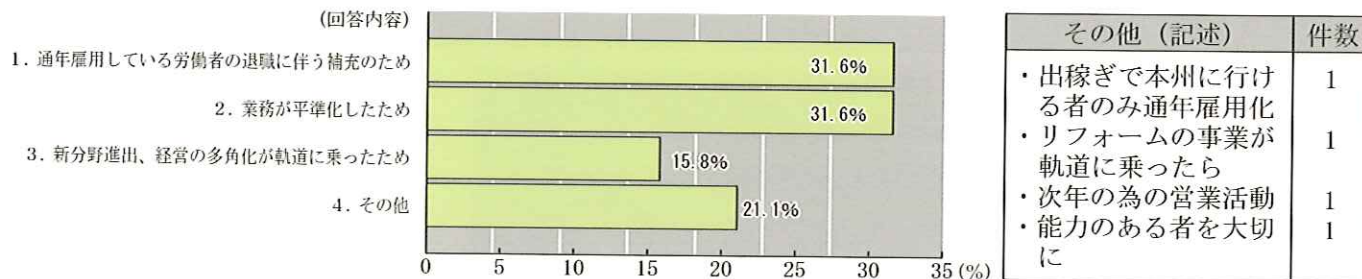
回答内容	回答数
1. 一般土木・建設作業員	12
2. 型枠工	
3. 大工(造作)	5
4. 軽作業員(雑役など)	
5. その他の土木・建設関連職種	4
6. 運転手	3
7. 製造関連技能職	1
8. サービス関連職種	
9. 販売員	
10. その他	4
回答数	29
回答企業数	25



その他 (記述)	件数
・警備業	1
・営業マン	1
・造園工	1

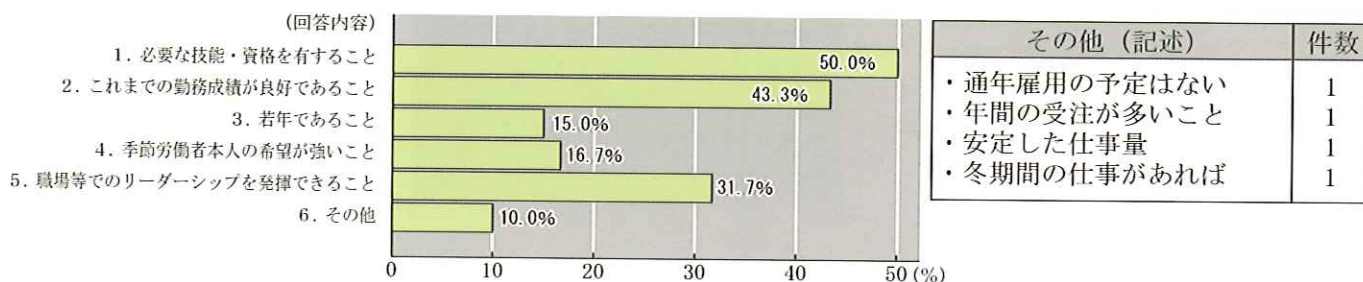
問 11 季節労働者を通年雇用化した(する予定の)際の状況についてお伺いします。(複数回答可。問 10 に記入した方のみ)

回答内容	回答数
1. 通年雇用している労働者の退職に伴う補充のため	6
2. 業務が平準化したため	6
3. 新分野進出、経営の多角化が軌道に乗ったため	3
4. その他	4
	回答企業数
	19



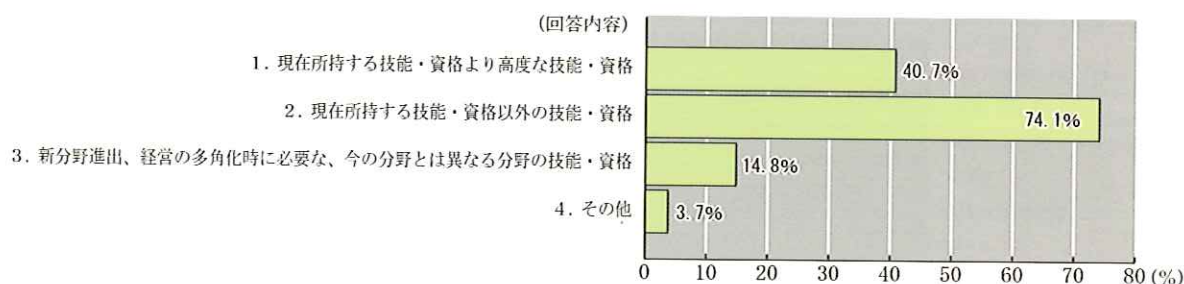
問 12 現に雇用する季節労働者を通年雇用する上で、貴社が特に重視する条件をお伺いします。(複数回答可)

回答内容	回答数
1. 必要な技能・資格を有すること	30
2. これまでの勤務成績が良好であること	26
3. 若年であること	9
4. 季節労働者本人の希望が強いこと	10
5. 職場等でのリーダーシップを発揮できること	19
6. その他	6
	回答数
	100
	回答企業数
	60



問 13 貴社が雇用する季節労働者を通年雇用する上で、必要と考える技能・資格の内容についてお伺いします。(複数回答可。問 12 で 1 を選択した方)

回答内容	回答数
1. 現在所持する技能・資格より高度な技能・資格	11
2. 現在所持する技能・資格以外の技能・資格	20
3. 新分野進出、経営の多角化時に必要な、今の分野とは異なる分野の技能・資格	4
4. その他	1
	回答数
	36
	回答企業数
	27





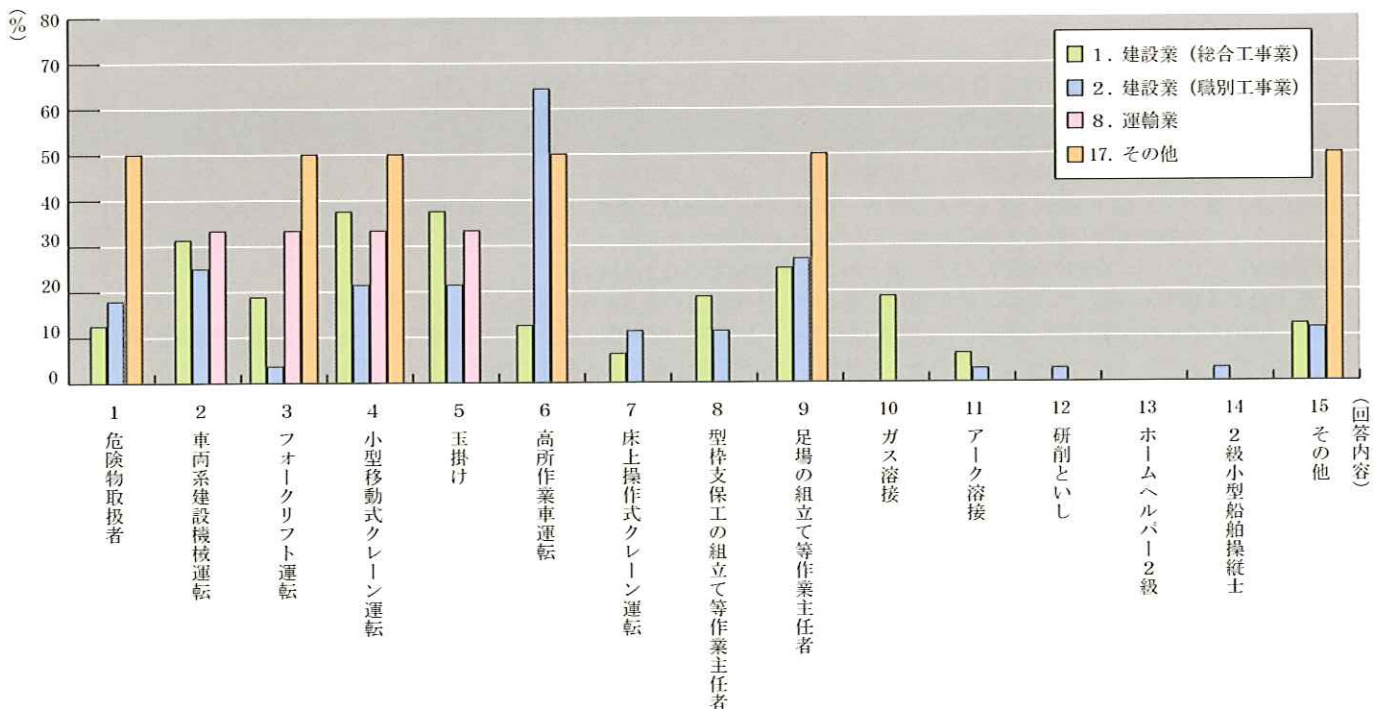
問 14 雇用する季節労働者を通年雇用化する上で、貴社が必要と考える具体的な技能・資格についてお伺いします。  
(複数回答可。問 13 に記入した方のみ)

業 種	回答内容	回答数	比率	
1. 建設業 (総合工事業) 企業数 16	1. 危険物取扱者	2	12.5%	
	2. 車両系建設機械運転	5	31.3%	
	3. フォークリフト運転	3	18.8%	
	4. 小型移動式クレーン運転	6	37.5%	
	5. 玉掛け	6	37.5%	
	6. 高所作業車運転	2	12.5%	
	7. 床上操作式クレーン運転	1	6.3%	
	8. 型枠支保工の組立て等作業主任者	3	18.8%	
	9. 足場の組立て等作業主任者	4	25.0%	
	10. ガス溶接	3	18.8%	
	11. アーク溶接	1	6.3%	
15. その他	2	12.5%		
2. 建設業 (職別工事業) 企業数 28	1. 危険物取扱者	5	17.9%	
	2. 車両系建設機械運転	7	25.0%	
	3. フォークリフト運転	1	3.6%	
	4. 小型移動式クレーン運転	6	21.4%	
	5. 玉掛け	6	21.4%	
	6. 高所作業車運転	9	64.3%	
	7. 床上操作式クレーン運転	3	10.7%	
	8. 型枠支保工の組立て等作業主任者	3	10.7%	
	9. 足場の組立て等作業主任者	8	28.6%	
	11. アーク溶接	1	3.6%	
	12. 研削といし	1	3.6%	
	14. 2級小型船舶操縦士	1	3.6%	
	15. その他	3	10.7%	
	8. 運輸業 企業数 3	2. 車両系建設機械運転	1	33.3%
		3. フォークリフト運転	1	33.3%
4. 小型移動式クレーン運転		1	33.3%	
5. 玉掛け		1	33.3%	
1. 危険物取扱者		1	50.0%	
17. その他 企業数 2	3. フォークリフト運転	1	50.0%	
	4. 小型移動式クレーン運転	1	50.0%	
	6. 高所作業車運転	1	50.0%	
	9. 足場の組立て等作業主任者	1	50.0%	
	15. その他	1	50.0%	
	回答数	102		
	回答企業数	49		

その他 (記述)	件数
・ 土木施工管理技士	1
・ 建設機械施行技士と土木 施行管理技士の両方	1

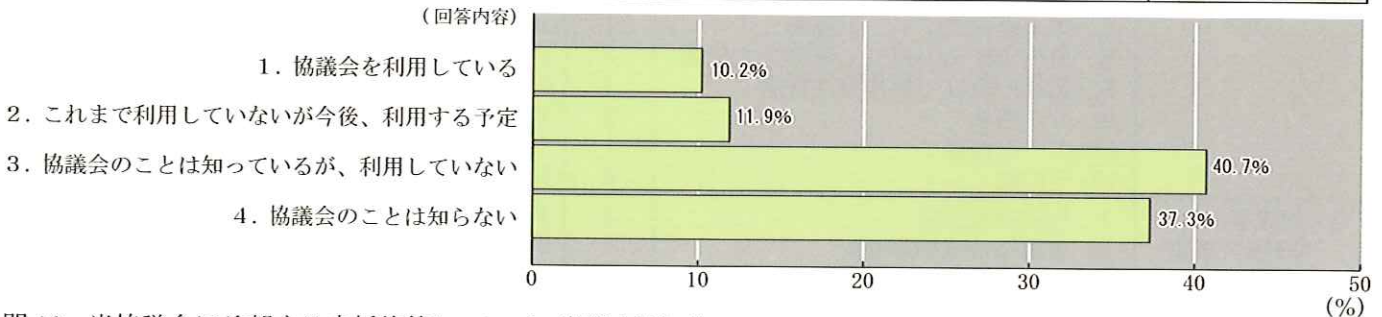
その他 (記述)	件数
・ 施工管理技士	1
・ 土木造園施工管理技士	1
・ 車両系建設機械 (解体用)	1

その他 (記述)	件数
・ 交通誘導 2 級 (警備業)	1



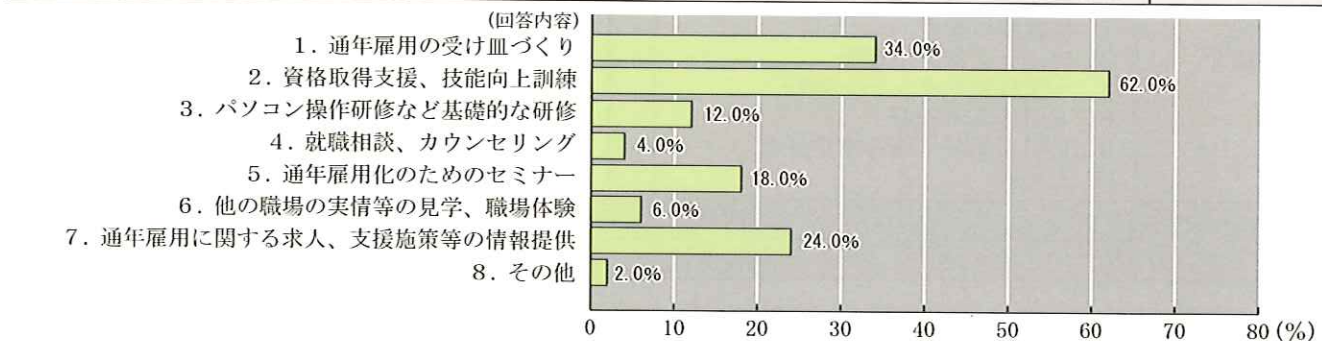
問 15 「函館季節労働者通年雇用促進支援協議会」についてお伺いします。

回答内容	回答数
1. 協議会を利用している	6
2. これまで利用していないが今後、利用する予定	7
3. 協議会のことは知っているが、利用していない	24
4. 協議会のことは知らない	22
5. その他	
回答企業数	59



問 16 当協議会に希望する支援施策について (複数回答可)

回答内容	回答数
1. 通年雇用の受け皿づくり	17
2. 資格取得支援、技能向上訓練	31
3. パソコン操作研修など基礎的な研修	6
4. 就職相談、カウンセリング	2
5. 通年雇用化のためのセミナー	9
6. 他の職場の実情等の見学、職場体験	3
7. 通年雇用に関する求人、支援施策等の情報提供	12
8. その他	1
回答数	81
回答企業数	50



問 17 その他季節労働者に対する要望・意見等がございましたらご記入ください。

記述内容	件数
・業務上、季節労働者以外雇用の必要ない (漁獲時期が4月から12月のため)	2
・職種が塗装業のため雇用保険の廃止は大変困る。事業の継続が困難な期間のみ仕事の斡旋などあれば、大変ありがたい	1
・本人にとっては通年雇用は収入も安定していいが60歳を過ぎて1からのスタートは？収入も今よりも少ないのでは？	1
・通年雇用もしたいが、今回の不況につき、後々のことも考えなかなか出来ない	1
・仕事 (公共工事) が安定してないと通年雇用は難しい。土木は3月～5月はほとんど仕事がない状況	1
・現在、左官タイルの仕事はないに等しく、当社はリフォーム事業へ切り換えるつもりで頑張っている。冬期間は東京方面へ行き、やっとタイル及び石貼工事にありつく状態。最近現場作業も多種多様の作業が多く工法も新しくなってきた。そこで、職人が短期間で安く資格所得が出来るのと助かる。又、冬期間の仕事が大変少なく年々減少している	1
・今年も資格取得支援があれば利用したいと思っている	1
・問いの内容が少しわからなく、解答が誤ってるところもあるかもしれない	1
・一時金の減額は本人たちにとっては大変だと思うので以前と同じ日数分に戻してあげたいと考える。通年化も、経費を考慮すると現実的ではないと思ひ、一時的に支援を受けても、2～3年後難しくなるのでは？そうなると結局、通年化する意味はないのかとも思う	1
・建具の職人は、技能がある人でないと1年通して仕事がないため季節労働者としての	1
・北海道では、冬期間 (1月～3月まで) の建設工事の不施行期間の策定方針があり、通年雇用制度と相反している。冬期間の建設工事が激減しており、通年雇用は活性化しない。建設業から異業種への移行は困難があり、北海道の冬期間の仕事量の確保を希望する	1